



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 エステー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4951 URL <https://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長

(氏名) 上月 洋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役

(氏名) 橋本 成明

TEL 03-3367-6314

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	37,439	0.8	2,082	14.0	2,356	14.7	1,488	35.2
2025年3月期第3四半期	37,748	7.7	1,827	6.3	2,053	17.3	2,295	34.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,079百万円 (11.9%) 2025年3月期第3四半期 2,360百万円 (14.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	71.34	
2025年3月期第3四半期	107.58	

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	46,780	34,263	71.9	1,611.90
2025年3月期	45,843	33,236	71.0	1,560.45

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 33,640百万円 2025年3月期 32,567百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		22.00		22.00	44.00
2026年3月期		22.00			
2026年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	0.8	1,900	14.5	2,300	10.4	1,500	47.1	70.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正及び個別業績見込と前期実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) エステ - ビジネスサポ - ト株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	23,000,000 株	2025年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,129,992 株	2025年3月期	2,129,673 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	20,870,223 株	2025年3月期3Q	21,341,170 株

(注) 期末自己株式数には株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が所有する当社株式 (2026年3月期3Q 216,200株、2025年3月期216,200株) が含まれています。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。 (2026年3月期3Q 216,200株、2025年3月期3Q 220,200株)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2026年2月12日 (木) の第3四半期決算発表後、速やかに当社ウェブサイト「株主・投資家情報」に記載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果も見えつつあり、個人消費は緩やかな回復基調で推移し、消費者マインドも持ち直しが見られました。しかしながら、米国の通商政策による影響で改善に足踏みが見られることや物価上昇が続いていることで景気の下振れリスクもあり、依然として先行きに対する不透明感は継続しています。

こうした状況の中、当社グループは、サステナブルな社会への貢献と事業成長を目指し、持続的な成長を支える足腰を強化するために、「原価高騰対策」「ロスの削減」「価値の創造」「経営基盤の強化」に取り組んでいます。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前期6月に事業譲受けを行ったペットケアが増加した他、米の価格高騰からフードケア商品の需要増によりホームケアが増加したことやビニール素材手袋が伸長したことでハンドケアが増加しました。しかしながら、防虫剤の収納スタイル多様化に伴う市場の低迷で衣類ケアが減少したこと、当期12月の気温が平年より高めに推移したこと等でサーモケアが減少した他、近年の空梅雨傾向や猛暑・残暑の影響による店頭露出の低下により湿気ケアが減少したことで、374億39百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

利益面では、「原価高騰対策」の取り組みとして調達先見直し等によるコストアップ抑制が進んでいることや前期取り組みを進めていた資本政策や経営基盤強化のためのコンサルティング関連費用がなくなったことにより、販売費及び一般管理費が減少し、営業利益20億82百万円（同14.0%増）、為替差損が増加したものの、受取配当金や持分法による投資利益の増加により経常利益23億56百万円（同14.7%増）、前期発生した負ののれん発生益がなくなったことで、親会社株主に帰属する四半期純利益14億88百万円（同35.2%減）となりました。

なお、前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間との比較にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしていますが、カテゴリー別の業績は以下のとおりです。

エアケア（消臭芳香剤）は、既存市場の拡充と新規ユーザーの創出に向けた取り組みを進めています。一部の既存品が減少したものの、「消臭力 Premium Aroma 玄関・リビング用」「消臭力 Premium Aroma トイレ用」や「消臭力 クリアビーズ イオン消臭プラス」がそれぞれ伸長したことに加え、ニオイ空間を瞬時にフレッシュな空間へ変えるミストタイプ消臭剤「消臭力 トイレのフレッシュミスト RESETTO」が貢献したことで、売上高は167億11百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

ペットケア（猫用トイレ用品）は、ブランドの認知度向上のため消費者との接点を増やす取り組みを進めています。「ニャンとも 清潔トイレ 本体」の買い場での接点づくりを進めたことで、売上高は29億72百万円（同4.1%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、収納空間における様々なニーズを取り込む価値提案の取り組みを進めています。「ムシューダ ウォークインクローゼット」や“清潔感”と“シンプル”がテーマの「ムシューダ NOTE」が伸長したものの、収納スタイル多様化に伴う市場の低迷から「ムシューダ 引き出し・衣装ケース用」「ムシューダ クローゼット用」といった既存の主力品、高付加価値3品である「ムシューダ Premium Aroma」シリーズが減少したことで、売上高は47億41百万円（同5.5%減）となりました。

ホームケア（フードケア・クリーナー他）は、フードケア商品や「洗浄力」ブランドを中心に新規顧客拡大への取り組みを進めています。米の価格高騰により大切なお米を守る意識の向上が見られ、お米を虫から守る「米唐番」の需要が拡大し、売上高は35億37百万円（同3.3%増）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、収納形態の変化に対応した取り組みを進めています。当期6月-7月が空梅雨だったことや、夏場の猛暑・秋の記録的な残暑の影響による店頭露出の低下により、使い捨てタンクタイプやシートタイプ除湿剤を中心に減少したことで、売上高は21億6百万円（同11.9%減）となりました。

サーモケア（カイロ）は、ロスの削減に向けた取り組みで前期販売分の返品を抑制することができたものの、カイロの今シーズンの立ち上げ導入遅れとともに当期12月の気温が平年より高めに推移したこと等で販売機会ロスが発生し、売上高は34億68百万円（同3.6%減）となりました。

ハンドケア（手袋）は、機能性が評価されている業務用手袋の拡売を進めています。業務用極薄手手袋の一部が取引先の影響で減少したものの、高付加価値品である「ファミリー Premium touch ヒアルロン酸」ビニール手袋の伸長とともに既存品である「ファミリー ビニール 中厚手2 双パック」「ファミリー ビニール 薄手3 双パック」の配荷店舗が増加したことで、売上高は39億円（同3.4%増）となりました。

カテゴリー	売上高	構成比	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	16,711百万円	44.6%	0.1%
ペットケア（猫用トイレ用品）	2,972百万円	7.9%	4.1%
衣類ケア（防虫剤）	4,741百万円	12.7%	△5.5%
ホームケア（フードケア・クリーナー他）	3,537百万円	9.5%	3.3%
湿気ケア（除湿剤）	2,106百万円	5.6%	△11.9%
サーモケア（カイロ）	3,468百万円	9.3%	△3.6%
ハンドケア（手袋）	3,900百万円	10.4%	3.4%
合 計	37,439百万円	100.0%	△0.8%

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して9億37百万円増加し、467億80百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加8億45百万円、受取手形及び売掛金の増加4億81百万円、商品及び製品の増加3億16百万円、投資有価証券の増加6億89百万円、その他流動資産の減少4億19百万円、繰延税金資産の減少5億73百万円等です。

負債は、前連結会計年度末と比較して89百万円減少し、125億17百万円となりました。主な要因は、未払費用の減少4億96百万円、未払法人税等の減少2億67百万円、短期借入金の減少1億43百万円、未払消費税等の増加4億42百万円、未払金の増加3億74百万円、その他流動負債の増加1億90百万円等です。

純資産は、前連結会計年度末と比較して10億26百万円増加し、342億63百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加5億61百万円、その他有価証券評価差額金の増加4億92百万円等です。

以上の結果、自己資本は336億40百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.9ポイント増加し、71.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績及び第4四半期の経営環境を踏まえ、2025年5月9日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正及び個別業績見込と前期実績値との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,061	10,906
受取手形及び売掛金	6,740	7,222
商品及び製品	5,653	5,970
仕掛品	202	255
原材料及び貯蔵品	1,010	1,112
その他	1,119	699
貸倒引当金	△10	△0
流動資産合計	24,776	26,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,796	3,702
機械装置及び運搬具（純額）	1,539	1,386
工具、器具及び備品（純額）	271	424
土地	3,441	3,443
リース資産（純額）	191	151
建設仮勘定	49	56
有形固定資産合計	9,289	9,165
無形固定資産		
のれん	1,229	1,129
商標権	2,048	1,880
その他	1,134	971
無形固定資産合計	4,413	3,981
投資その他の資産		
投資有価証券	5,948	6,638
長期貸付金	21	23
退職給付に係る資産	4	4
繰延税金資産	778	205
その他	610	595
投資その他の資産合計	7,364	7,466
固定資産合計	21,067	20,614
資産合計	45,843	46,780

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,409	2,420
電子記録債務	2,863	2,850
短期借入金	513	369
リース債務	62	56
未払金	1,304	1,679
未払費用	867	371
未払法人税等	450	183
未払消費税等	16	458
営業外電子記録債務	167	43
その他	2,272	2,463
流動負債合計	10,928	10,896
固定負債		
リース債務	120	94
再評価に係る繰延税金負債	270	270
役員退職慰労引当金	12	12
役員株式給付引当金	48	57
従業員株式給付引当金	20	19
退職給付に係る負債	1,164	1,125
その他	41	41
固定負債合計	1,678	1,620
負債合計	12,606	12,517
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,065	7,065
資本剰余金	13,521	13,521
利益剰余金	13,552	14,113
自己株式	△3,233	△3,233
株主資本合計	30,906	31,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,976	2,469
繰延ヘッジ損益	-	18
土地再評価差額金	△330	△330
為替換算調整勘定	32	37
退職給付に係る調整累計額	△17	△20
その他の包括利益累計額合計	1,660	2,173
非支配株主持分	669	623
純資産合計	33,236	34,263
負債純資産合計	45,843	46,780

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
売上高	37,748	37,439
売上原価	23,473	23,173
売上総利益	14,274	14,265
販売費及び一般管理費	12,447	12,182
営業利益	1,827	2,082
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	126	138
仕入割引	82	67
持分法による投資利益	-	37
為替差益	10	-
受取保険金	0	0
その他	87	92
営業外収益合計	322	349
営業外費用		
支払利息	20	18
為替差損	-	49
持分法による投資損失	64	-
その他	10	8
営業外費用合計	95	76
経常利益	2,053	2,356
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	-	81
負ののれん発生益	1,101	-
特別利益合計	1,103	82
特別損失		
固定資産除売却損	10	4
事業構造改善費用	-	※1 50
支払解決金	-	37
特別損失合計	10	93
税金等調整前四半期純利益	3,147	2,345
法人税、住民税及び事業税	376	443
法人税等調整額	350	333
法人税等合計	727	776
四半期純利益	2,419	1,568
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,295	1,488



（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	2,419	1,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	493
繰延ヘッジ損益	-	18
為替換算調整勘定	△47	2
退職給付に係る調整額	△5	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	68	△0
その他の包括利益合計	△59	511
四半期包括利益	2,360	2,079
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,255	2,001
非支配株主に係る四半期包括利益	105	78

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

記載すべき重要な事項はありません。

（セグメント情報の注記）

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結損益計算書に関する注記）

※1 事業構造改善費用

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、ハンドケアカテゴリーにおける事業構造の最適化を進める中で、連結子会社であるS.T.（タイランド）のハンドケア製造事業から撤退することにより発生した従業員の早期退職等に関わる費用を事業構造改善費用として計上しています。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	985百万円	1,143百万円
のれんの償却額	78	100

（注）前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。